



わたなべ よしみ  
**渡辺 好美**

株式会社渡辺電設  
代表取締役

*Profile*

昭和19年3月生まれ。72歳。  
電気工事会社で経験を積み、昭和39年に渡辺電気工事店として個人創業。  
趣味はゴルフ。地元のサッカーチームのスポンサーとなっている。  
ブータン、ネパール、アフリカなどへの太陽光システムの技術協力をしている。

**よそ見をしないでまっすぐ  
夢中だから苦勞ではない**

弊社は、渡辺電気工事店として、昭和39年の4月に創業しました。昭和44年に有限会社、昭和50年に株式会社にして、今では、電気工事の他に太陽光を扱うメガソーラー事業を行っています。

私の兄弟は全員電気関係の仕事をしています。だから、私も電気工事の仕事をしようと、中学2年生の時にもう決めていました。高校卒業後まっすぐ、寄り道をせずに今日まで来ています。

初めの頃、社員数は2,3人でした。現在では16名。今の売上は30億。少数精鋭です。

転職は32歳の時。「下請けをしていたのではいつまでもうだつが上がらない」と考え、下請け業務をすっぱりやめ、同時に信頼できるお客様とだけ直にお付き合いすると決めました。提案営業に切り替え、ゼロからのスタートでしたが、当時は無我夢中で苦勞とは思いませんでした。取引先は3分の1になっても、売上は3倍にすることができました。自分で仕事を作り出すこと。これが大切だと痛感



▲渡辺社長が一代で築き上げた渡辺電設はメガソーラー事業へ参入しました。栃木のメガソーラー事業の先駆けとして、業界を牽引。太陽光電気設備技術を留学生に指導、世界の技術革新にも貢献しています。

しています。

**メガソーラーで売上6倍に**

太陽光発電施設事業を始めたのは6年前です。この時も、退路を断つ意味で、メンテナンスのみのお客様をお断りしました。そして、社員と一緒に必死に勉強し、メガソーラー事業を始めて1年後に太陽光バブル。やはり当たりました。

平成24年に市内の同業有力企業5社で共同出資をして、「足利メガソーラー株式会社」を設立。足利市に大

規模なメガソーラー設備の設置を始めました。新分野に積極的に進出して、自分達で仕事を作っていかなければならないと常に考えているからです。それには、業界に後継者を育てていかなければなりません。我々のこの事業が、中小企業のビジネスモデルになることを期待しています。

後継者が必要なのは日本の業界だけではなく、足利工業大学に留学中の学生がネパールやアフリカ、ブータンなどでメガソーラー事業が始められるように、技術提供と資金

援助を行うことは、未来への投資であり、世界への貢献です。この足利市で事業が続けられているのは、足利工業大学の電気設備工事を施行したのがきっかけなのです。ですから、大学に来ている留学生が、メガソーラーの技術を勉強して、国で事業が始められて、貢献できるように育成することは、足利工業大学への恩返しだと思っています。商売は、持ちつ持たれつです。こうやってやることをやれば、ちゃんと神様は見ている、仕事を与えてくれるのです。

事業を行い、業績を上げていくには、どう社会を見るかの視点が大切です。新聞をよく読む、政治家と話をするなど、いつでもアンテナを張っています。「我々の事業は、いつどの何に該当するのか」という視点で少し先回りして待っていると、その時期はやってきます。

日本の未来は明るくないのかもしれませんが、子供たちがどんな境遇でも働ける環境を作っていくことが我々の役目です。縁がせてもらったら、次はお返しをすることです。これから我々に何ができるのか、とても楽しみにしています。

# 太陽光で方向転換

# 栃木の第一人者に

株式会社渡辺電設

TSR企業コード:26-015197-1

所在地 〒326-0845

栃木県足利市大前町763

TEL 0284-62-2498

URL <http://www.watanabe-ashikaga.com/>

創業 昭和39年4月

設立 昭和44年10月

従業員数 16名

売上高 30億2,796万円 (平成27年9月期)

優良企業ガイドは▶000Pへ!